

訂正版

2ページの誤記を訂正。

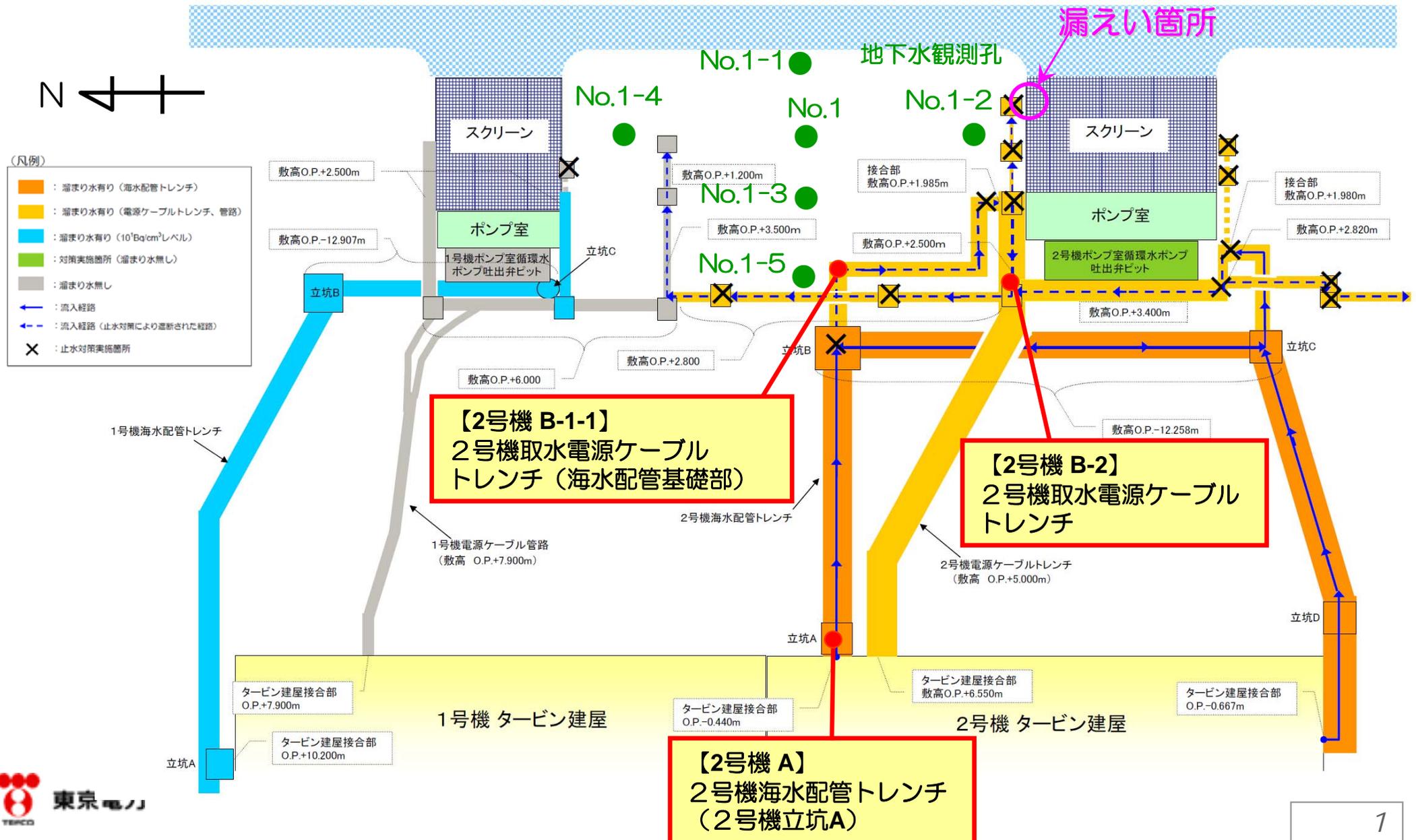
福島第一原子力発電所2号機 取水電源ケーブルトレンチの調査結果と現時点での評価

平成25年7月29日
東京電力株式会社

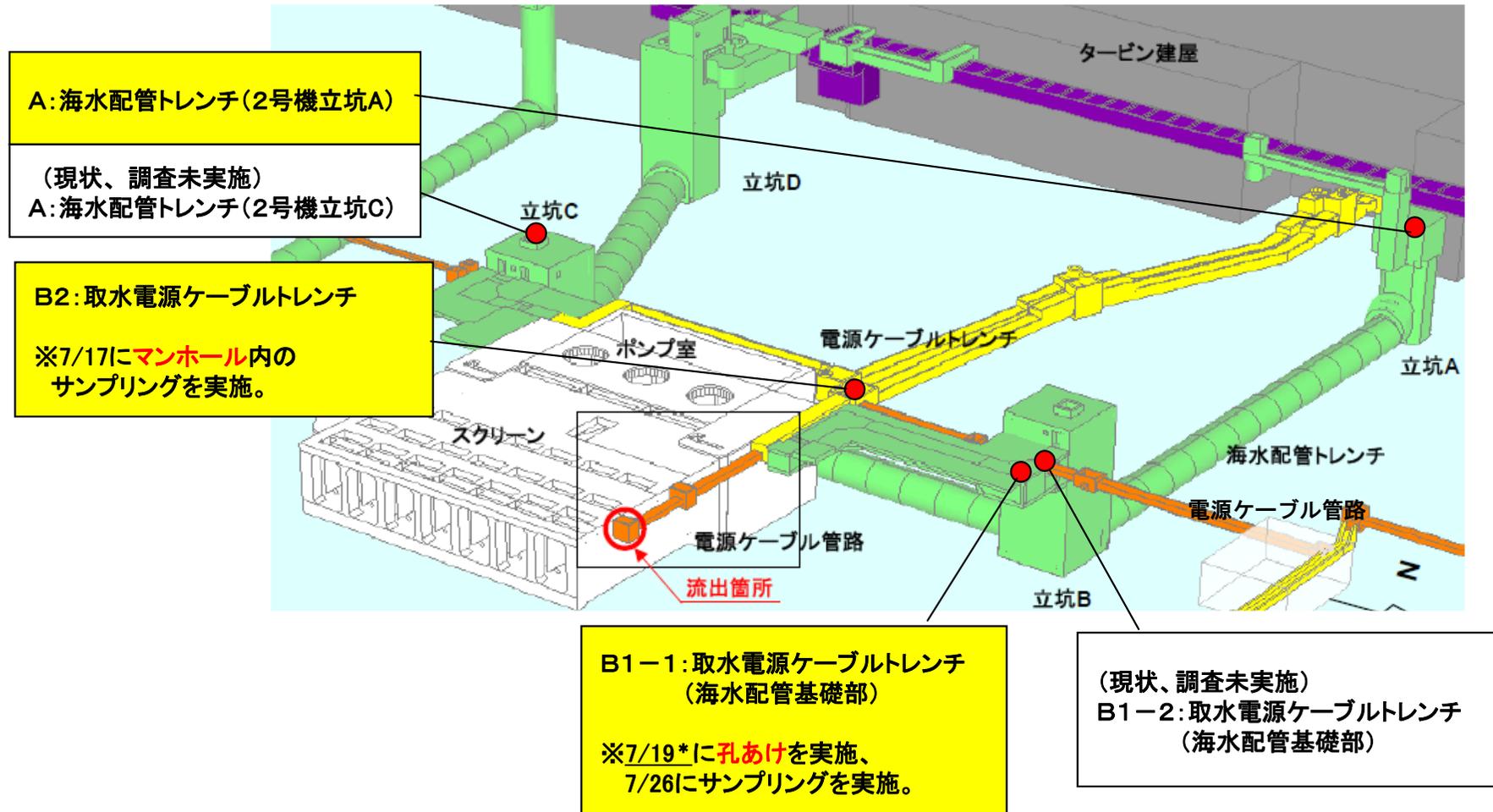


東京電力

2号機取水電源ケーブルトレンチの概要 (1/2)



2号機取水電源ケーブルトレンチの概要 (2/2)



*誤記があったため訂正。

正：7/19 誤：7/17 (平成25年8月2日)

調査状況

■【2号機 A】2号機海水配管トレンチ(2号機立坑A)

採取日	塩素 (ppm)	Cs134 (Bq/cm ³)	Cs137 (Bq/cm ³)	全β (Bq/cm ³)	H-3 (Bq/cm ³)
平成25年5月30日	140	1.8×10 ⁴	3.7×10 ⁴	—	—

■【2号機 B-1-1】2号機取水電源ケーブルトレンチ(海水配管基礎部)

採取日	塩素 (ppm)	Cs134 (Bq/cm ³)	Cs137 (Bq/cm ³)	全β (Bq/cm ³)	H-3 (Bq/cm ³)
平成25年7月26日	8,000	7.5×10 ⁵	1.6×10 ⁶	7.5×10 ⁵	8.7×10 ³

水位測定日	水位(注3)	参考) 2号機立坑A水位(注4)
平成25年7月23日	OP.3150mm	OP.3083mm
平成25年7月26日	OP.3150mm	OP.3302mm

■【2号機 B-2】2号機取水電源ケーブルトレンチ

採取日	塩素 (ppm)	Cs134 (Bq/cm ³)	Cs137 (Bq/cm ³)	全β (Bq/cm ³)	H-3 (Bq/cm ³)
平成25年7月17日	70	1.2×10 ⁴	2.4×10 ⁴	2.3×10 ⁴	1.2×10 ²

水位測定日	水位(注1)	参考) 2号機立坑A水位(注2)
平成25年7月17日	OP.2760mm (水深約70mm)	OP.3196mm

(注1) 箱尺による暫定的な測定値

(注2) 定期的に採取している測定値(7/17 16時データ)

(注3) 水面計による測定値

(注4) ケーブルトレンチ水位と同時測定した測定値

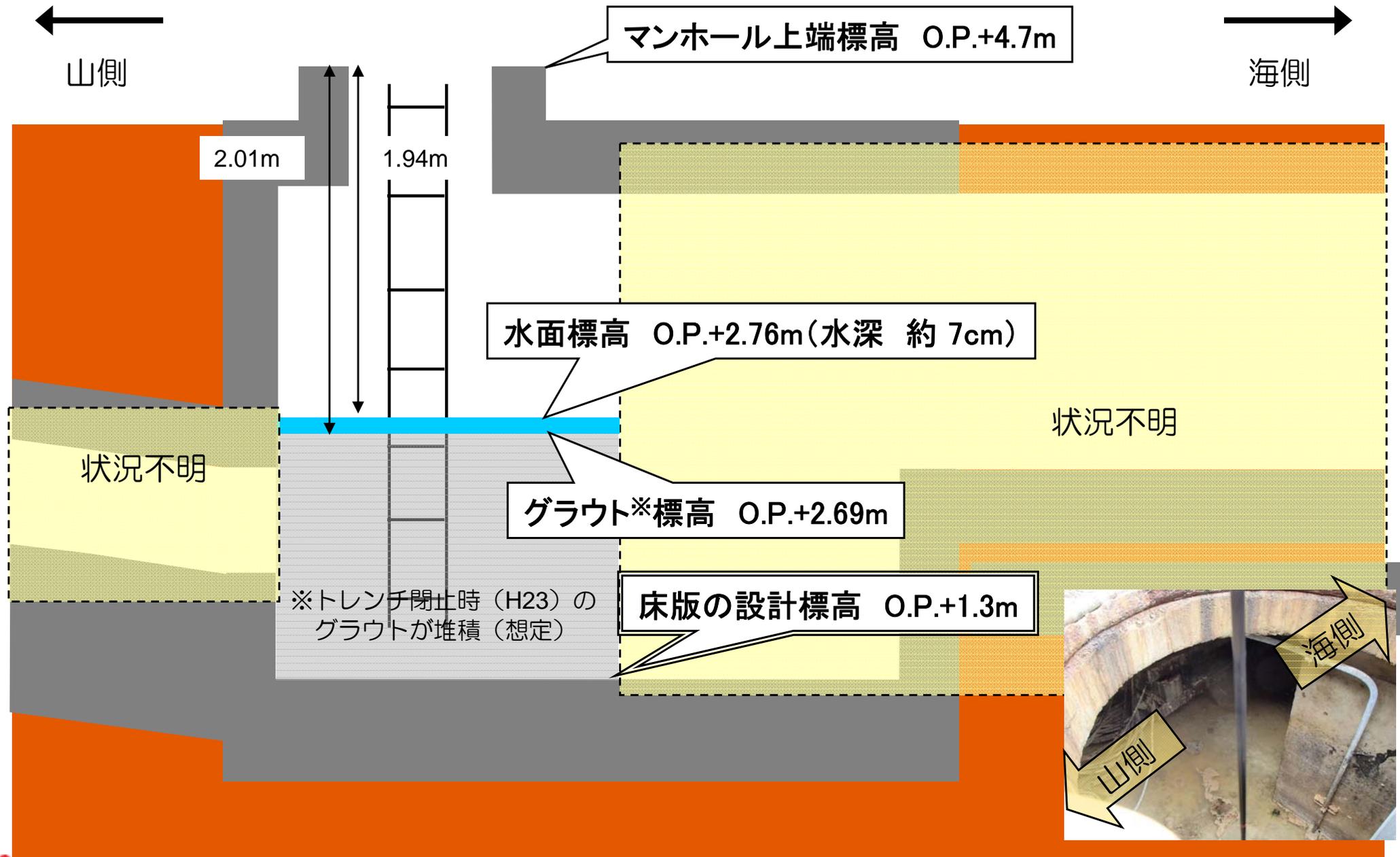
調査状況を踏まえた現時点での評価

場所	評価項目	2号機海水配管トレンチとの 連通性	トレンチ内の滞留状況
【2号機 B-1-1】 2号機電源取水ケーブル トレンチ（海水配管基礎部）		<ul style="list-style-type: none"> ■海水配管トレンチとの連通性はないと考えられる 【根拠】 ➢2号機立坑Aとの水位連動が確認されていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ■事故直後の汚染水がそのまま滞留していると考えられる 【根拠】 ➢Cs-137濃度が事故直後の汚染水と同程度の6乗オーダー（Bq/cm³）であること ➢水位変動が確認されていないこと
【2号機 B-2】 2号機取水電源ケーブル トレンチ		<ul style="list-style-type: none"> ■海水配管トレンチとの連通性はないと考えられる 【根拠】 ➢2号機立坑Aよりも水位が低いこと 	<ul style="list-style-type: none"> ■滞留水（7/19時点で水深約7cm）は、事故直後のグラウト閉止時の残水の可能性もあり、トレンチ外への流出可能性は不明。 ■雨水等が流入していると考えられる 【根拠】 ➢塩素濃度、セシウム濃度等が低いこと（雨水等による希釈の可能性）



トレンチ外への流出可能性を確認するため、水位測定（水位の増減の確認）が必要

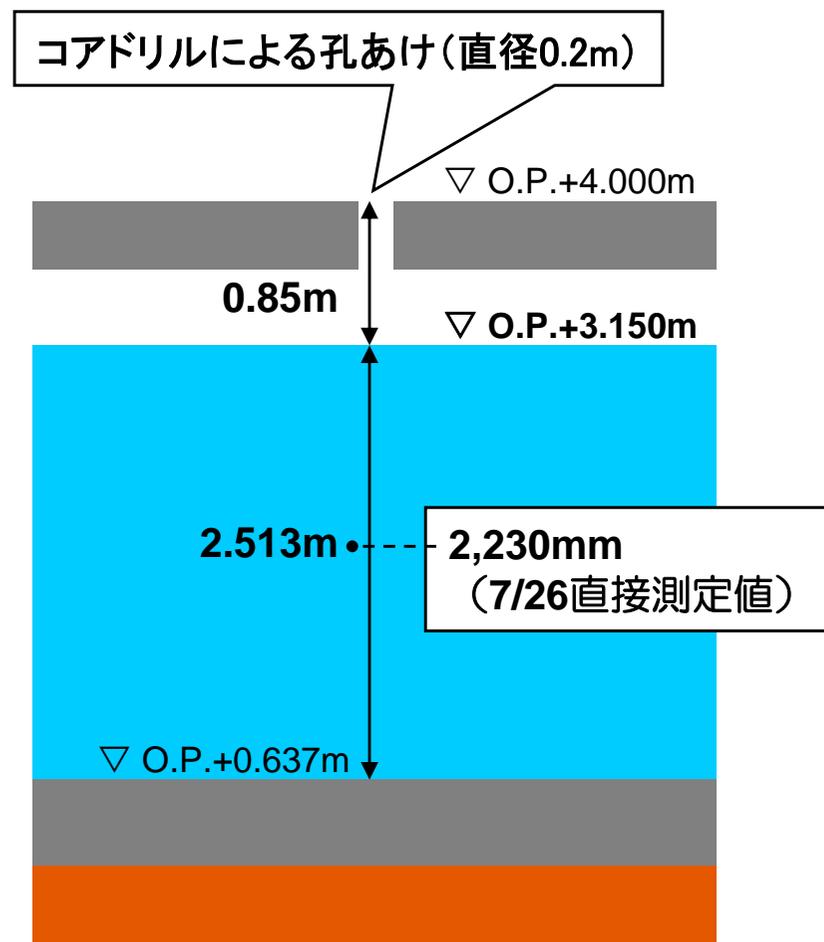
<参考> 【2号機 B-2】 2号機取水電源ケーブルトレンチ内の状況（イメージ）



<参考> 【2号機 B1-1】 取水電源ケーブルトレンチ（海水配管基礎部）の状況



孔あけを実施した箇所のトレンチの断面



※ 構造物の標高は設計値